

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0123 前橋市高花台1-6-5 (佐藤光由方) tel027-269-1143

E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net

top News

各種表彰者紹介

[令和7年群馬県スポーツ協会長賞]

2026年2月21日(土) ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館で表彰式が行われた。本連盟関係者は以下の通り。

スポーツ功労者賞 阿部 ^{えつこ}悦子 様

1992年山形国体山岳競技成年女子選手として参加、その後国体選手強化のサポートを行う。2009年より登山案内人のスタッフとして活動。2014年から現在まで本連盟ジュニア委員会常任委員として、主に小中学生を対象にクライミングや登山の指導にあっている。

ジュニアスポーツ奨励賞 深澤 ^{かなめ}要 選手

- ・ボルダーフィーチャーズカップU13男子1位
- ・全国ボルダー小学生競技大会男子小学校5/6年1位
- ・ファイテン×マムートユースコンバインドカップ2025U13男子複合1位

ジュニアスポーツ奨励賞 橋本 ^{ひなた}暖 選手

- ・ボルダーフィーチャーズカップU13女子1位
- ・全国ボルダー小学生競技大会女子小学校5/6年1位
- ・小学生リードクライミング競技大会 CANCECUP2025JユースA女子1位
- ・リードフィーチャーズカップ西条U13女子リード1位



阿部悦子さん



橋本暖さん

[第51回令和7年度上毛スポーツ賞]

3月27日、2025年度の「上毛スポーツ賞」贈呈式が上毛新聞社上毛ホールで行われた。贈呈式後に近くのホテルで懇親会が開かれた。

スポーツライミング 深澤 要 選手

スポーツライミング 橋本 暖 選手



深澤要さん(右)と橋本暖さん(左)

2027年版 山岳写真カレンダー作品募集

[募集要項]

◆概要

- カレンダーサイズ A2判
- カレンダー完成月 2026年8月頃
- 印刷部数 1,200部 (一般頒布の他、関係機関等へ配布)
- 掲載写真点数 7枚
- カレンダー頒布価格 1,000円

◆作品募集内容

作品対象・群馬県内の山々、県境の山々

- ・カレンダーですのでニヶ月間は見て楽しめるような見応えのある親しみのもてる作品
- ・作品内容・ポジフィルム、デジタル写真(1200万画素以上)のいずれも可
- ・大きく引き伸ばしますので画像の粗い作品は不可
- ・過去に写真展や写真集に発表したものでも可

応募方法・2Lサイズ(データ応募不可)

- ・撮影場所、撮影年月、撮影データを写真の裏面に記載
※記載のないものは採用しません
- ・一人5点以内

締切日・2026年6月13日(土)

- 審査員・一般社団法人群馬県山岳・スポーツライミング連盟理事他
- ※氏名、住所、連絡先を明記して、ご応募下さい。

◆応募先

- 〒370-3511 群馬県高崎市金古町2090-8 関矢弘幸 宛
- 電話:090-1123-6929
- なお、ご応募頂いた作品は返却しません。また、作品を審査し、作品掲載が決まった方にはご連絡しますが、選考に漏れた方にはご連絡しません。あらかじめご了承下さい。掲載作品の権利は一般社団法人群馬県山岳・スポーツライミング連盟に帰属します。

【投稿】

スポーツクライミング発展阻害懺悔告白

連盟顧問：八木原聡明

3年後、2029（令和11）年、群馬にまた国体が来ます。「国スポ」です。1983年秋、第38回「あかぎ国体」で当時の群馬岳連も「山岳競技」を担当しました。今はスポーツクライミング競技です。私の国体との関わりは高校時代の1964年新潟国体出場、「あかぎ国体」登攀種目の副主任審判員だけです。

喜ばしいことに群馬も久しぶりに全国に通用する選手を輩出したようです。小学生で男子は高崎の深沢要、女子は前橋の橋本暖の両選手。国スポにはギリギリ間に合うのでしょうか。「群馬のSCの発展を何年も遅らせた戦犯筆頭」と弾劾される私としては、他力であってもホッとしています。

1971年春のダウラギリ4峰偵察から1993～4年冬のエベレスト南西壁までの4半世紀「ヒマラヤ登山こそが登山」と思い、登山指導も遭難対策も「ヒマラヤ登山という幹」についてくれば良い。国体も「そのための基礎勉強と思えば良い」とすら思ってやってきました。

我々の岩登りは、衝立岩のミヤマルルートも手段を択ばない人工登攀主流。後に「ボルトラダー」との批判も。そんな感じでした。「岩と雪」72号（1980年2月号）の戸田直樹氏の「ヨセミテとコロラドの体験」で岩登り、フリークライミング界の決定的な大変化到来を思い知らされ、私は岳連のダウラギリ報告書「峭峻の白き尾根」（1980年9月刊）に「日本人の8000m峰登頂者一覧表」として「最近の日本人登山家の先鋭技術を駆使してのクライミングも恐ろしいほどのハイレベルにある。それらの人達がヒマラヤへ行けば、外国人ヒマラヤ登山家に負けまい」云々と書いた。

後年、アンナプルナ南壁、エベレスト南西壁冬期初登攀を終えた頃、星野光岳連会長とスポーツクライミングを評して「あんなものは山登りではない」と言いまくっていたものでした。「私にとっての登山はヒマラヤ」でしたから。

日山協に関わり、スポーツクライミングを身近で見るにつけ、目からうろこが落ちまくりました。小さなクライマー達が登れずに泣く姿に、私が泣きました。関わり方次第。オリンピックもあり協会名を「日本山岳・スポーツクライミング協会」にしました。「俺達の岩登りの進化した姿がスポーツクライミングだ」と。

「正しい」は難しい。「国スポ」、準備おさおさ愈り召さらぬよう願います。

アルファ化米
乾燥米飯



nozomi foods Co., Ltd.

あなたの安心を支えるWel-heart

<https://www.nozomi-f.jp>



WEB



Facebook



令和7年度 登山教室スノーシュー講習 実施報告

指導委員会 対比地 昇

令和7年度の登山教室スノーシュー講習を2月22日(日)穏やかに暖かい日差しを浴びながら、絶好の気象条件の下で実施することができた。参加申込み6人、直前のキャンセル2人で、当日の参加は男女それぞれ2人の4人となった。講師は班長に阿部源、副班長に田中、岡田、対比地の4人が担った。

2月11日に講師4人で下見を行い、積雪状況、講習内容、危険箇所の確認などを行った。今冬、日本海側は災害級の大雪に見舞われ、ここ玉原も降雪量が多いと思われたが、意に反して例年より少ない状態であった。

① 8:30 萬屋建設駐車場に集合。

例年、社長さんのご厚意により駐車場を利用させていただいている。

出席確認、レンタルスノーシュー受け渡し、装着方法の説明の後、開会式。主催者挨拶、講師紹介、班長によるスノーシューの歴史、歩行方法の説明などの後、車1台乗り合わせにて移動。

② 8:50 たんばらスキーパーク駐車場着。登山準備、装備、服装など確認。

③ 9:10 登山行動開始。駐車場西の圧雪車駐車場脇から雪上に入り、スノーシューを装着。

④ 9:30 歩行開始。

地形図とコンパスを用いて進行方向を求め、角度の確認を行う。進行方向にある目標となる樹木を目指し歩行開始。先頭を交替しながら参加者全員で実習した。

⑤ 10:10 現在地確認。地形図を見て沢地形の確認。危険の回避などの説明。

⑥ 10:40 現在地確認。地形図を見て沢、尾根の確認。急登、急下降の歩行練習。

進行方向にうまく進めない場合があり、その都度指摘し、修正を行った。

⑦ 11:40 ピーク1323mに着。長休止。

昼食の後、スコップ、スノーソーで斜面を掘り、簡単に弱層テストを行い雪崩のメカニズムの説明を行った。

⑧ 12:50 ブナ平を目指して出発。

地形図とコンパスで方向を求め、コース上の地形の特徴も把握し出発。コースを間違えた場合の確認方法もその都度行った。



トレッキングや登山の国内・海外旅行保険はもちろん、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険などを取り扱っております。メールや電話、Zoom 等でもご契約頂けるので、千葉県船橋市の保険代理店ではございますが、ご用命頂けると幸いです。

東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)代理店

(株) And-Arc

〒273-0012 千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと三井ビルディング 7F

TEL:047-489-1661/FAX:047-489-1667

⑧ 13:30 急下降下山。

スノーシューでの急下降の方法と注意点の説明。沢、尾根など地形を確認しながらコース取りを行う。

⑨ 13:50 舗装道路に出る。

⑩ 14:00 センターハウス着。記念撮影。

センターハウス隣の駐車場広場にて目をつぶっての歩行でまっすぐ歩けるか、どちらに曲がっていくかの確認などを行う。

⑪ 14:30 スキー場駐車場に着。後片付けをして車乗り合わせで移動。

⑫ 15:30 萬屋建設駐車場の戻り閉会式。主催者挨拶、講師講評。解散

天気も良く、樹林帯の隙間からは谷川岳など周りの山々もくっきりと見ることができた。隣のスキー場は大変な混雑であったが、山の中は人も少なく、静かなスノーシュー歩行を楽しむことができた。講師3人が講習内容を分担して行い、流れがスムーズで予定通りの行動を行うことができた。今回も参加者の笑顔と満足そうな表情を見ることができ、良かったと思っている。



□□□□

群馬の山

21

白砂山

難易度 B 体力度 3

野反湖⇨〈1:00〉地藏峠⇨〈2:00〉堂岩山⇨
〈1:30〉白砂山⇨〈1:20〉堂岩山⇨〈1:30〉
地藏峠⇨〈0:50〉野反湖



白砂山

東峰、中峰、西峰の3峰からなっていて、三角点は西峰に置かれている。3県の県境は山頂から東に150mほどの稜

日本二百、信州百およびぐんま百名山に選定されている白砂山は、群馬、長野、新潟の3県にまたがる上信越国境山脈の主要なピークの一つである。山頂部は

線上で、ここから新潟・群馬県境の稜線と、佐武流山を経て苗場山に至る長野・新潟県境の稜線が分かれる。このコースはぐんま県境稜線トレイルに含まれ、深々とした森やササ原の稜線などとともに眺望が素晴らしい。苗場山、佐武流山、岩菅山など眼前の上信越の山並みから白根山、横手山、赤城山、榛名山、浅間山、谷川連峰、そして快晴に恵まれれば富士山まで望める。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」

群馬の山歩き ベストガイド

安心して歩ける126コース



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 記集

この冬、3度ほど尾瀬の麓の戸倉に長蔵小屋の平野紀子さんを訪ね、平野さんの半生や尾瀬の移り変わりなど、さまざまなお話をじっくりと聞く機会があった。話を聞けば聞くほど、関連する資料にあたればあたるほど、自分の知識の浅さと狭さに愕然とする。伺った話はAIで文字化はたやすくなったが、登山史も自然保護の歴史も、また古道の歴史も、学べば学ぶほどその奥行きや深さと、幅の広さに立ちつくす思いだ。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026